

～ 健 口 と 輝 く 笑 顔 の た め に ～

歯科衛生だより 会報

2025 June vol. **87**

発行人／吉田 直美 発行／公益社団法人 日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

歯科衛生推進フォーラムが開催される



会長 吉田 直美

令和7年2月9日(日)に、令和6年度歯科衛生推進フォーラムが開催された。昨年に続き、ステーションコンファレンス東京にて開催となった。参加者は129名(取材の方も含む)であった。

はじめに、日本歯科衛生士会会長 吉田 直美から挨拶があった。歯科衛生推進フォーラムの開催は、少子高齢化の進展や疾病構造の変化に伴い、歯科保健医療ニーズが多様化・高度化する中で、歯科衛生士がどのように対応し、地域社会に貢献していくべきかを考える機会である。また、厚生労働行政、保健福祉の動向を踏まえ、効果的な歯科保健活動を実践できる知識や技術を深めるとともに、地域歯科保健活動の指導者の育成に寄与することを目的としていると説明があった。



小嶺 祐子 氏

続いて、来賓の厚生労働省医政局歯科保健課 課長の小嶺 祐子氏のご挨拶の後、「歯科保健医療の動向」についてご講演をいただいた。①新たな地域医療構想、②歯科医療提供体制の構築の推進、③歯科衛生士を取り巻く状況(歯科衛生士の歯科診療の補助行為、特に、局所麻酔行為・歯科衛生士の現状と課題など)について、図表を用いた大変わかりやすい説明をいただいた。



会場の様子

なお、当日のスライドについては、後日、都道府県歯科衛生士会に資料として配信されたので、ご活用いただきたい。



副会長 久保山 裕子

午後は事業報告と考察を含めた①「勤務実態調査の報告」調査委員会 委員 安達 奈穂子、②「歯科衛生士調査報告」副会長 久保山 裕子、③「歯科衛生士の調査からみえてきたもの」会長からの説明があった。さらに、会長より、歯科衛生士の倫理綱領について非常に大切であると紹介があり、すべての歯科衛生士に周知したいと提案があった。



調査委員会 安達 奈穂子

会場からは、ご質問やご発言があり、大変活発な意見交換が行われた。

歯科衛生士を目指す学生の皆さん、そしてすでに歯科衛生士として活躍されている皆さんへ

公益とは、社会全体や地域社会の利益や幸福を指す言葉です。そして、公益社団法人とは、公益性の高い活動を行う団体として、内閣府から認定を受けた法人のことをいいます。営利を目的とせず、社会に貢献することを目的として活動しているため、その運営は透明性が高く、社会的な信頼度も非常に高い組織です。

私たち日本歯科衛生士会は、公益社団法人として、歯科衛生士の専門性を高め、歯科衛生に関する学術研究を推進し、歯科衛生の重要性を広く社会に伝えることで、国民の健康と福祉の向上に貢献することを使命としています。この使命を果たすために、日々さまざまな活動を行っています。

歯科衛生士の活動を通じて、私達は国や社会からの信頼を得ることを目指しています。そして、その信頼が、歯科衛生士の就業環境の改善や、専門職としての認知度の向上、さらには収入の増加といった形で、歯科衛生士一人ひとりに還元されるのです。これらの成果は、歯科衛生士会が丸となって活動を持続してきたからこそ得られるものです。

歯科衛生士会に入会することは、単に会員になるということではありません。それは、歯科衛生士としての専門性を高め、社会的な地位を向上させるための一歩を踏み出すことを意味します。また、歯科衛生士会の一員として活動することで、歯科衛生士全体の未来をより良いものにするための力となるのです。

これから歯科衛生士を目指す学生の皆さん、そしてすでに歯科衛生士として活躍されている皆さんにお伝えしたいのは、私たち一人ひとりの力が集まることで、歯科衛生士という職業の価値をさらに高め、社会にとって欠かせない存在としての地位を築いていくということです。ぜひ、歯科衛生士会に入会し、共に歯科衛生士の未来を創っていきましょう。

公益社団法人 日本歯科衛生士会 会長 吉田 直美



会長メッセージ



厚生労働省ウェブサイト
歯科衛生士の業務の
あり方等に関する検討会



JDHAウェブサイト
歯科衛生士の倫理綱領
日本語版／英語版



JDHA
インスタグラム
歯科衛生推進フォーラム

令和6年度「都道府県歯科衛生士会会長会・分科会」が開催される

令和7年2月8日(土)JPタワー(KITTE)にて、令和6年度都道府県歯科衛生士会会長会・分科会は出席者65名(会長45名、関係者20名)で開催された。当日は、交通事情などの問題で出席が困難になった方もいらしたが会場は熱気にあふれて開始された。



まず、日本歯科衛生士会会長の吉田直美より都道府県歯科衛生士会の日頃のご活動と本会に対するご協力に感謝を述べた。また、令和6年度事業の振り返りがあった。①歯科衛生士の業務の在り方に関する検討会が進められたこと。特に歯科衛生士の局所麻酔に関する議論が注目され、厚生労働省でも検討が進められている。また、全国歯科衛生士教育協議会においても、大学教育のためのコアカリキュラムの中に卒前教育において局所麻酔に関するカリキュラムが検討されている。これらの動きは、歯科衛生士の業務範囲や整合性の明確化に重要なことであり、近日、具体的に明示されると考える。②2県の歯科衛生士会が法人化を果たし、社会に認められる組織として格上げされて足並みがそろってきたことが報告された。③歯科衛生士の専門性の確立に向けた基盤づくりが行われたこと。社会に専門職として認められるためには、歯科衛生士自身による研究や学会活動が不可欠となる。研究者育成や支援も必要となり、歯科衛生士会の皆様の協力が必要であること。④会員拡大のための基礎資料を得るための調査も重要とあり、勤務実態調査では見えてこない課題や可能性を明らかにするための調査を行った。結果をもとに今後の事業策定に役立てることなどが説明された。

最後に歯科衛生士会の課題は山積であるが、私たちが一致団結し、力を合わせて、解決にあたることで、明るい未来を切り開き、作りたいと話された。

その後、協議事項は「令和7年度事業計画(案)の概要」(副会長久保山 裕子)、「令和7年度生涯研修・認定研修」「都道府県歯科衛生

士会への研修支援」(副会長 河野 章江)、「令和7年度ブロック連絡協議会・ブロック研修 実施要領」「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業」(専務理事 岡田 昌子)について各担当役員から説明があった。次に報告事項として、在宅・施設口腔健康管理委員会(常務理事 村西 加寿美)、診療所委員会(常務理事 武藤 智美)、災害歯科保健委員会(理事 下池 光)、地域歯科保健委員会(理事長 優子)より説明があった。



高阪 利美 氏



藤山 美里 氏

午後は分科会となり、理事 渡邊 理沙から趣旨説明の後、「組織率維持のための復職支援」をテーマに、情報提供、①愛知学院大学短期大学部歯科衛生士リカレント研修センター 副センター長の高阪 利美氏、情報提供、②公益社団法人 東京都歯科衛生士会 会長の藤山 美里氏よりお話を伺った。

その後、6グループに分かれ、グループ別討議は「各都道府県で取り組む復職支援について」をテーマに情報交換を行った。

終了後にグループごとの発表後、高阪 利美 氏より総評として5つの提案があった。①若い世代を巻き込んで求めている世代に届くSNSで情報発信する、②養成校との連携(夏休みなどの教室やユニット利用・機材共有)、③受講者の満足感、④事業の継続(③と合わせて口コミは重要)、⑤事業の評価とデータ活用についてご説明があった。

ブロック別討議では令和7年度ブロック連絡協議会の相談などが、令和6年度ブロック連絡協議会会長の司会で行われた。

すべてのプログラムが終了し、都道府県歯科衛生士会の連携強化が図られ、盛会となった。参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

JDHA
Instagram
会長会

分科会の様子

令和7年度 認定歯科衛生士セミナープログラム

令和7年度 認定歯科衛生士セミナーのプログラムをご紹介します。なお、受講申込みは締め切っており、これからのお申込みはできません。

生活習慣病予防 (特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)コース

日 程 ●オンデマンド配信：9月1日(月)～10月17日(金)
●ライブ配信：10月18日(土)
●認定テスト：10月18日(土)

受講料 30,000円

本コース(食生活改善指導担当者研修30時間)を受講した者は、食生活の改善指導に関する専門的知識および技術を有するものと認められる、保健指導の実施者(医師・保健師・管理栄養士)が作成した特定保健指導支援計画に基づき、食生活の改善支援および運動支援(3メッツ以下)を実施することができる。また、2018年から特定健診の質問票に咀嚼に関する項目が追加されたことにより、口腔の健康と全身の健康との関係について適切な支援方法を習得する。歯科衛生士として、口腔環境に配慮した食生活改善指導および運動支援を行うための専門的知識および技術を身につける。

	研修項目	研修内容
1	健康づくり施策概論	1 健康づくり施策の考え方と進め方
2	生活指導およびメンタルヘルスケア	1 生活指導と健康に影響する生活環境要因 2 個人の健康課題への対処行動(保健行動) 3 ストレスとその関連疾患およびストレスの気づきへの援助 4 個別・集団の接近技法 5 ライフステージ・健康レベル別健康課題と生活指導
3	栄養指導	1 栄養・食生活の基礎知識および今日的課題と対策 2 食行動変容と栄養教育 食生活改善指導者の役割 3 ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育
4	健康教育	1 健康教育の理念と方法 2 健康生活への指導プログラムの基礎知識と方法 3 メタボリックシンドロームに対する健康教育 4 禁煙支援プログラムの基礎と実践 5 メタボリックシンドロームと口腔保健
5	身体活動・運動の基礎科学	1 身体活動・運動と健康のかかわり
6	研究討議	意見交換 メタボリックシンドローム関連

摂食嚥下リハビリテーションコース

日 程 ●オンデマンド配信：9月20日(土)～11月22日(土)
●集合型研修：11月23日(日・祝)～11月24日(月・休)
開催会場：東京都内(予定)
●認定テスト：11月24日(月・休)

受講料 35,000円

摂食嚥下障害を有する対象者に、歯科衛生士として適切で水準の高い摂食嚥下リハビリテーションを計画的、科学的に実践するために、リスク管理を含む全人的な観点から、問題解決能力と臨床的技能、臨床的態度を備えているか確認する。日本摂食嚥下リハビリテーション学会の協力により実施される。

	研修項目	研修内容
1	リハビリテーション総論	1 リハビリテーション医学とは 2 運動学習とは 3 摂食嚥下の運動学

2	摂食嚥下障害者への口腔管理と制度の理解	1 摂食機能障害者に関する制度の理解 2 医療保険、介護保険制度と口腔管理の実際
3	摂食嚥下機能のメカニズム(解剖)	1 口腔の構造 2 咽頭の構造 3 喉頭の構造 4 鼻腔の構造 5 摂食嚥下に関与する筋
4	摂食嚥下機能のメカニズム(生理)	1 摂食運動 2 咀嚼から嚥下への過程 3 嚥下運動の過程 4 嚥下運動の誘発 5 嚥下と呼吸のかかわり 6 嚥下運動に関連する器官における反射
5	咬合および咀嚼機能の管理と評価	1 咬合と咀嚼運動 2 咀嚼運動の解剖・生理 3 咀嚼機能の低下の要因 4 咀嚼・嚥下機能と咬合支持の関係性 5 咀嚼の機能低下による全身への影響
6	栄養管理	1 栄養ケアマネジメント 2 栄養摂取方法・補助栄養法 3 食事形態 4 嚥下調整食とは 5 栄養サポートチーム(NST)の概念について
7	リスクマネジメント・全身管理	1 全身状態の把握と対応 2 バイタルサインのチェック
8	リスクマネジメント・呼吸管理と肺理学	1 呼吸器の解剖と生理 2 アセスメント方法 3 呼吸法 4 呼吸筋ストレッチ 5 徒手呼吸助法 6 体位ドレナージ 7 気道管理(気管カニューレなど)と外科処置
9	リスクマネジメント・経鼻吸引	1 経鼻吸引 2 演習
10	病態別摂食嚥下障害(小児の摂食嚥下障害)	1 小児の口腔形態 2 正常発達と口腔機能の獲得 3 小児の摂食嚥下障害
11	病態別摂食嚥下障害(頭頸部がん等の摂食嚥下障害)	1 頭頸部外科手術 2 頭頸部がんの放射線治療後の摂食嚥下障害の病態 3 歯科的補綴装置
12	病態別摂食嚥下障害(中途障害の摂食嚥下障害)	1 脳血管障害 2 高次脳機能障害 3 認知症 4 神経・筋系疾患 5 サルコペニア
13	摂食嚥下の評価	1 フィジカルアセスメント 2 スクリーニング手法 3 頸部聴診法 4 嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査
14	食事外部観察評価	1 維持期における摂食嚥下機能低下の原因とリスクおよびその対応 2 摂食時の外部観察評価 3 その外部観察評価における問題点の抽出、分析およびその対応 4 演習

	研修項目	研修内容
15	摂食嚥下訓練	1 摂食嚥下障害に対する訓練計画立案、食指導 2 各病態に対する訓練法とその選択 3 演習
16	歯科衛生ケアプロセス(歯科衛生過程)	1 歯科衛生の視点とは 2 歯科衛生ケアプロセス(歯科衛生過程)の概要 3 演習 4 フィードバックと模範解答

在宅療養指導・口腔機能管理コース

日 程 ●オンデマンド配信：8月12日(火)～9月12日(金)
●ライブ配信：9月7日(日)
●集合型研修：9月14日(日)、15日(月・祝)
開催会場：東京都立産業貿易センター浜松町館
●認定テスト：9月15日(月・祝)

受講料 40,000円

歯科衛生士は、口腔衛生管理および口腔機能管理を包括した「口腔健康管理」を必要としている、より多くの在宅療養者に対応することが求められてきている。さらに、近年は医療機器や薬剤、医療的ケア児の知識も必要になってきている。疾患や障害に伴う口腔のあらゆる管理だけでなく、疾患や障害の把握を行い、在宅患者における様々な事象に多職種と連携を取りながら対応できる能力を身につけることが不可欠である。本プログラムは在宅療養者の支援に必要な口腔健康管理の知識・技術を習得できるよう、組まれたものである。

	研修項目	研修内容
1	日本における歯科の在宅医療と未来	
2	在宅医療の現状	1 在宅医療を取り巻く環境 2 在宅医療と地域包括ケア 3 医療的ケア児
3	在宅医療に関わる全身疾患と口腔機能	1 病態把握 2 全身疾患と検査値との関連
4	多職種連携について	1 多職種連携の実際 2 在宅療養者の環境把握 3 多職種からみた口腔機能 4 家族支援とは
5	口腔機能管理の実際	1 口腔衛生(口腔の解剖学的・生理学的基礎) 2 口腔機能(咀嚼と食塊形成)
6	栄養管理・栄養支援	1 栄養評価 2 在宅療養者の口腔機能と栄養支援
7	在宅医療に関わる機器の取り扱い	1 医療機器の基本知識 2 在宅医療と医療機器 3 医療機器とリスクマネジメント
8	在宅医療と薬剤の基礎知識	1 在宅医療に起こることが多い薬剤有害事象 2 有害事象への対応
9	在宅医療と終末期・看取りの知識	1 看取りの考え方 2 歯科衛生士の役割(家族支援含む)
10	在宅医療と歯科衛生士が行うマネジメントの知識	
11	在宅支援と歯科衛生士の介入の実践	グループワーク(1症例)
12	施設体験学習	

糖尿病予防指導コース

日 程 ●オンデマンド配信：9月15日(月・祝)～11月14日(金)
●集合型研修：11月15日(土)～11月16日(日)
開催会場：福岡県歯科医師会館
●認定テスト：11月16日(日)

受講料 35,000円

糖尿病予防の歯科保健指導および管理にかかる専門的な知識・技術を習得し、地域社会に貢献できる医学的、歯学的な知識と歯科保健学的技能を習得する。徳島大学歯学部との協力により実施。

	研修内容
1	ペリオドンタル・メディシン
2	糖尿病の基礎知識
3	糖尿病臨床の実際
4	国民健康の疫学
5	糖尿病と歯周病の関連性
6	学校保健と糖尿病予防
7	糖尿病予防の指導と管理① 糖尿病予防の保健指導と管理(多職種連携)
8	糖尿病予防の指導と管理② 糖尿病予防の栄養指導と管理(多職種連携)
9	糖尿病予防の指導と管理③ 糖尿病予防の運動指導と管理(多職種連携)
10	糖尿病患者の指導と管理①(多職種連携)
11	糖尿病患者の指導と管理②(多職種連携)
12	歯科衛生士による口腔保健指導
13	糖尿病予防指導の実際①(病院)
14	糖尿病予防指導の実際②(診療所)
15	糖尿病予防指導の実際③(地域)
16	オリエンテーション アイスブレイク
17	糖尿病とその予防で学んだこと
18	成人歯科健康診査「生活歯援プログラム」
19	シナリオに対する口腔保健指導プラン作成
20	我が国の糖尿病の現状と施策
21	教育講演
22	ふくおか市民糖尿病教室

医科歯科連携・口腔機能管理コース

日 程 前期 ●オンデマンド配信：6月28日(土)～7月26日(土)
●ライブ配信：7月27日(日)
後期 7月28日(月)、8月4日(月)、18日(月)、25日(月)
東京歯科大学市川総合病院にて見学・実習、認定テスト
*後期は4回に分け、5～6名ずつ実施

受講料 55,000円

医科歯科連携のもと、医科疾患患者の口腔健康管理を実践するために必要な知識、技術を習得する。東京歯科大学に委託実施。

	研修内容
1	がん患者の周術期管理 ～外科の立場から～
2	病院における口腔機能管理に必要な基本的知識

3	脳卒中患者の口腔機能管理
4	周術期口腔機能管理の制度(保険点数)
5	緩和ケア ～認定看護師の立場から～
6	化学療法と有害事象 ～薬剤師の立場から～
7	放射線療法と有害事象
8	臨床研究の進め方
9	グループワーク(症例検討)
10	周術期口腔機能管理 ～歯科衛生士の立場から～
11	東京歯科大学市川総合病院 見学説明
12	歯科・口腔外科外来での周術期口腔機能管理見学
13	口腔がんセンターでの周術期口腔機能管理見学
14	栄養サポートチーム(NST)回診見学
15	病棟での口腔管理見学
16	シミュレータを用いた喀痰吸引実習
17	シミュレータを用いた呼吸音聴診実習
18	シミュレータを用いた挿管患者における口腔衛生管理

歯科医療安全管理コース

日 程 ●オンデマンド配信:8月2日(土)～9月14日(日)
●ライブ配信:9月6日(土)～9月7日(日)
●認定テスト:9月7日(日)

受講料 35,000円

医療連携、多職種連携に対応し、歯科医療機関における組織的な医療安全管理体制をするため、高度で総合的な医療安全、感染対策の実践および指導技術の習得を有する歯科衛生士を養成する。広島大学歯学部にて委託実施。

	研修項目	研修内容
1	感染予防対策総論	感染予防の概論など
2	歯科医療における標準予防策の具体的方法	1 標準予防策の基本的考え方と歯科医療 2 オーデットについて
3	歯科医療器具の洗浄、消毒、滅菌の総論	1 洗浄、消毒、滅菌の総論
4	病院、歯科診療所での感染予防対策の実際	1 病院・歯科診療所における実践方法
5	歯科医療の環境整備・医療廃棄物の取扱い	1 ユニットチェアサイドの環境整備 2 水の管理 3 医療廃棄物の取り扱い 4 針刺し・粘膜曝露等職業感染の考え方

6	院内感染対策で重要な微生物	1 院内感染対策で重要な細菌、ウイルス 2 薬剤耐性菌 3 AMRアクションプラン
7	標準予防策の実際	1 手指衛生、個人防護具(PPE)、ラッピング等の実際 2 歯科衛生士倫理綱領確認 3 医療安全自己チェック
8	今後の感染対策	1 今後の感染対策について
9	医療安全対策総論	1 医療安全管理体制構築の指針 2 ヒューマンエラーと医療事故
10	医薬品、医療機器の安全管理方法	1 医薬品管理(数量、期限など) 2 薬剤の知識(処方箋、禁忌など) 3 機材管理(モニター、AEDなど)
11	周術期口腔ケア、訪問診療の医療安全対策	1 周術期口腔ケア、ICU、点滴回路 2 訪問診療における予防対策(誤嚥、誤飲、転倒、転落など) 3 ICU、点滴回路等
12	口腔外科手術時の医療安全対策	1 口腔外科手術での偶発症対策 2 インフォームドコンセント
13	歯科衛生士が起こしやすいインシデントの対応予防策	1 事例から学ぶ具体的予防策・対応方法
14	レジリエンス・エンジニアリングと医療安全	1 レジリエンス・エンジニアリングと医療安全を学ぶ
15	医療情報、個人情報の管理と実際	1 医療情報、個人・診療情報の規定 2 医療安全としてのカルテ記載方法 3 カルテや患者情報の取り扱い方
16	歯科衛生士のリスクマネジメントプロセス	1 診療現場における歯科衛生士のリスクマネジメントプロセスの実際
17	歯科で起こりやすい患者急変時の対応と予防策	1 デンタルショック、過換気症候群、アナフィラキシーショックの違い 2 誤飲などの緊急対応法 3 救急薬剤、救急器材 4 モニターの見方 5 小児への対応 6 BLSの実際
18	臨床現場における医療安全(感染含)対策ワークショップ	1 ワークショップについて 2 項目番号18の課題説明 3 アイスブレイク 4 グループ討論、成果作成 5 発表、全体討議、フィードバック
19	感染防止対策ワークショップ	1 テーマ別のオーデット作成 2 各グループからの発表 3 フィードバック
20	事例から学ぶ医療安全対策ワークショップ	1 実際の事例について対応策・予防策を討論 2 各グループからの発表 3 フィードバック

Japan Dental Show 日本デンタルショー2025

9/26(金) 9/27(土) 9/28(日)

- ◆ 会 場: パシフィコ横浜 展示ホール
- ◆ 主 催: 一般社団法人 日本歯科商工協会



Instagram

日本
デンタルショー
2025



ウェブサイト

第25回
日本歯科医学会
学術大会



日本歯科衛生士会も出展ブースを開設し、イベントなどを企画しています。詳細はInstagramや次号の会報88号をご確認ください。

第25回日本歯科医学会学術大会も同時開催され、歯科衛生士の講演が企画されています。



日本歯科衛生学会 第20回学術大会のご案内

第20回学術大会は、会場開催と終了後のオンデマンド配信を行うハイブリッド開催といたします。

参加登録は8月1日(金)より開始予定です。登録方法は、次号「歯科衛生だより会報88号」および第20回学術大会ウェブサイト(以下、大会ウェブサイト)にてご案内しますので、参加を検討されている方は、随時、大会ウェブサイトや公式Xをご確認ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

メインテーマ 歯科医療DXで変わる! 歯科衛生士の未来 ―知る、活用する、つながる―

開催日程 会場開催: 2025年11月2日(日)~11月3日(月・祝)
オンデマンド配信: 2025年11月25日(火)開始予定

会場 昭和医科大学上條記念館(東京都品川区旗の台1丁目1番地20)

主催 日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会

共催 公益社団法人東京都歯科衛生士会

後援予定 東京都、品川区、公益社団法人東京都歯科医師会
公益社団法人東京都品川歯科医師会、公益社団法人東京都荏原歯科医師会

大会ウェブサイト <https://jsdhm.jdha.or.jp/20th/>

公式X(旧Twitter) @jsdh_official

大会ウェブサイト



公式X(旧Twitter)



会場開催プログラム

11月2日(日) 10:00~11:00 11:10~12:10 12:30~13:20 13:30~14:30 14:40~16:26	開場(9:00) 開会行事、表彰式、学術賞授賞者プレゼンテーション 特別講演「歯科医療DXが創る新しい可能性 ―歯科衛生士が活躍する新しいフィールド―」 株式会社Dental Prediction 代表取締役 宇野澤 元春 氏 ランチョンセミナー 都民フォーラム 「自分らしく健康を決める力:ヘルスリテラシーを身につける ―情報の活用をめざして―」 聖路加国際大学大学院看護学研究科 看護情報学分野 教授 中山 和弘 氏 口演発表、第2回専門領域別研究集会	商業 展 示
11月3日(月・祝) 9:20~ 9:30 9:30~11:30 11:40~12:20 12:40~13:30 13:50~14:50 15:00~15:51 16:00~	開場(9:00) 第21回学術大会案内 シンポジウム テーマ: 歯科医院での働き方改革 基調講演「2025年を迎えた今歯科衛生士に求められる事(仮)」 公益社団法人日本歯科医師会 会長(予定) 講演1「ICTを活用した歯科衛生士業務の効率化と多職種連携」 公益社団法人東京都豊島区歯科医師会 会長 高田 靖 氏 講演2「歯科衛生士の知っておきたい労働法 ―安心して働くために―」 青山社会保険労務士事務所 代表 青山 奈知 氏 講演3「歯科衛生士とSNS」 AtoE 代表 竹之内 茜 氏 口演発表、ポスター発表、第2回専門領域別研究集会 ランチョンセミナー 教育講演「歯科におけるDX活用」 昭和医科大学歯科病院 補綴科 教授・歯学部長 馬場 一美 氏 口演発表 閉会式	

※タイムスケジュール等は、変更になる場合があります。

LIVE配信プログラム(Zoomウェビナー) 11月9日(日) 10:00~11:30 研究討論会

第28回感染症予防歯科衛生士講習会開催のお知らせ

1 目的

歯科衛生士を対象に、最新の感染症事情、院内感染の予防管理対策や歯科診療所における医療安全対策に関する講習を行うことにより、患者が安心して受けられる歯科保健医療の提供を図ることを目的とする。

2 実施主体

日本歯科医師会・日本歯科衛生士会

3 協力

和歌山県歯科衛生士会

4 対象

業務に従事している歯科衛生士

5 開催日時・研修方法・定員

	A日程	B日程
開催日時	令和7年7月27日(日) 13時～16時50分	令和7年8月24日(日) 13時～16時50分
研修方法	Web研修 (ライブ配信)	Web研修(A日程の 録画映像を配信)
定員	250名	250名
担当	和歌山県歯科衛生士会	日本歯科衛生士会
日程	13:00 開 会 13:10～16:40 講 演 (60分×3名、講演間休憩あり) 1.最新の感染症事情 口腔内の症状を表す感染症を中心として 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 歯科・口腔外科診療科長 丸岡 豊 氏 2.歯科における院内の感染予防管理 大阪大学歯学部附属病院 口腔総合診療部 副部長・准教授 野崎 剛徳 氏 3.歯科医療安全入門 できることから始める事故防止と医療安全 ーリスクマネジメントとチームの視点からー 赤坂見附磯谷歯科室 院長 磯谷 一宏 氏 16:50 閉 会	

6 受講料

無料

7 申込期間・申込方法

(1) 申込期間

令和7年6月9日(月)～7月9日(水)

定員になり次第締め切ります。

(2) 申込方法

Peatixを利用し、下記URLよりお申込みください。

初めて利用する方は新規登録が必要です。

【A日程】<https://peatix.com/event/4376475>

【B日程】<https://peatix.com/event/4389977>

スマートフォン用二次元コード▶



【申込にあたっての留意点】

- 申込後はPeatixよりメールを送信しますので、ドメイン「peatix.com」からのメールを受信できるようあらかじめ設定をお願いします。

8 研修単位

- 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 専門研修 3単位
(基本研修 特定コース「歯科診療所等における医療安全管理対策」)
- 日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 認定更新生涯研修 3単位

9 修了証書の交付

講習を修了した者に対し、修了証書を交付します。

10 注意事項

- 受講申込後、何らかの事情で欠席する場合は、必ずPeatix上でご連絡ください。順次他の者に受講の機会を与えます。
- 遅刻や早退の場合、研修単位の付与ならびに修了証書交付はございません。

11 問い合わせ先

日本歯科衛生士会 生涯研修委員会

E-mail: jdha.peatix@gmail.com

令和7年度「歯科衛生士復職支援・離職防止等 研修指導者養成研修事業」について

今年度も厚生労働省の補助事業として標記の研修事業を行います。本事業は、新人歯科衛生士の離職防止と復職支援を地域において実践する指導者を養成するための研修です。歯科衛生士不足を解消して歯科衛生士の専門性を高めるために、本研修の受講は欠かせません。今年度も具体的な新人歯科衛生士の育成プログラム等を紹介する予定です。研修対象者は、①都道府県歯科衛生士会の企画運営を担当する者、②歯科衛生士養成機関の専任教員、実習指導員、③臨床実習施設等で指導を行っている者、④③のほか、臨地実習施設等で指導を行っている者です。

令和6年度に引き続き、オンラインで開催いたします。詳細が決まり次第、本会ウェブサイトにてご案内いたしますので、ご確認ください。

<https://www.jdha.or.jp>



令和7年度 定時代議員会開催について

代 議 員 各 位

公益社団法人日本歯科衛生士会
会 長 吉 田 直 美

令和7年度定時代議員会を下記のとおり開催いたします。

記

- 1.日 時 令和7年6月15日(日)13時30分～16時
- 2.場 所 ステーションコンファレンス東京501
東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー5階
- 3.議 題
- 第1号議案 理事及び監事の選任に関する件
- 第2号議案 令和6年度事業報告(案)に関する件
- 第3号議案 令和6年度決算報告(案)に関する件
監査報告
- 第4号議案 代議員会運営規則、代議員選挙規則、
会員規程、改正に関する件
- 第5号議案 会長候補者の選定に関する件

4.報告事項

- ① 令和7年度事業計画について
- ② 令和7年度収支予算について

理事及び監事候補者

1.理事候補者

定数17名以上22名以内(候補者21名)

(五十音順)

候 補 者	所 属 会	ブ ロ ッ ク	推 薦 代 表 者
石川 奈保美	神奈川県		打 矢 純 子
大屋 朋子	千葉県		井 口 祐 子
岡田 昌子	千葉県		鋤 持 郁 子
久保山 裕子	福岡県		岡 留 朝 子
河野 章江	東京都		近 藤 圭 子
小森 朋栄	東京都		野 村 正 子
下池 光	宮崎県		佐々木 美鈴
鈴木 瞳	千葉県		安達 奈穂子
須山 弘子	東京都		藤山 美里
長 優子	東京都		高澤 みどり
根岸 麻理	東京都		大 関 慧 子
藤原 奈津美	徳島県		吉 田 幸 恵
武藤 智美	北海道		吉 田 直 美
村西 加寿美	滋賀県		土 屋 奈 美
山田 小枝子	岐阜県		高 阪 利 美
鐘水 麻里	山形県	北海道・東北	佐 藤 奈 美
川島 貴重	東京都	関東信越	藤山 美里
渡邊 理沙	愛知県	東 海 北 陸	金 森 いづみ
小前 みどり	兵庫県	近 畿	高 橋 千 鶴
柴田 久美	山口県	中 国 四 国	今 田 千 恵 美
八木 浩子	佐賀県	九 州	中 座 博 子

2.監事候補者

定数3名 候補者3名

候 補 者	所 属 会	備 考	推 薦 代 表 者
高橋 千鶴	兵庫県		山口 千里
渡邊 洋子	東京都		大金 伸子
今村 敬	公認会計士	清明監査法人	理 事 会 推 薦

Linking JDHA to IFDH

『International Journal of Dental Hygiene』

本会では、国際歯科衛生士連盟が発行する学術誌「International Journal of Dental Hygiene(IJDH)」を購読しています。会員の皆様にはIJDHが無料公開されているウェブサイトに直接アクセスできるように、二次元コードを公開いたします。

有料の部分については、IJDHを本会で閲覧することができます。国際協力委員会までお申込みください。(FAX 03-3209-8023)

国際歯科衛生誌

2025年2月 第23巻1号

本号は原著論文15報、総説5報で構成されています。近年、日本の歯科衛生士も臨床現場で取り入れられているエアポリッシングの有効性に関する臨床試験や、日常のセルフケアで用いる器具(電動歯ブラシや歯間清掃用具等)の効果に関する臨床試験の結果が報告されています。本号に掲載された論文のうち7報は無料で閲覧が可能です。アブストラクトだけでもご一読いただき、最新の研究動向にふれていただければと思います。 ※最新の情報をお届けするため、Instagramで先行配信を開始しています。本会公式アカウントをフォローしてご確認ください。

IJDH
第23巻1号JDHA公式
Instagram

(日本歯科衛生士会 国際協力委員会 藤原 奈津美)

理事会報告

令和6年度第6回理事会が令和7年3月9日(日)に開催された。審議事項と報告事項は次のとおりである。

審議事項

- 令和7年度各委員会の活動計画(案)について
- 令和7年度事業計画の概要(案)について
- 令和7年度収支予算(案)について
- 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- 令和7年度定時代議員会開催(案)について
- 外部理事・外部監事候補者(公認会計士)の推薦について
- 災害歯科保健業務調整(ロジスティクス) 歯科衛生士、災害歯科保健コーディネーター 歯科衛生士名称変更並びに廃止について
- 災害歯科保健業務(ロジスティクス) 歯科衛生士の推薦について
- 特定費用準備資金「IFDH積立資産」の積立について
- 「地域歯科保健活動報告」調査項目の変更及び「都道府県会による地方自治体委託事業等状況調査」の実施(案)について
- 令和7年度行政歯科衛生士研修開催要領(案)について
- 申請書類オンライン作成システムの導入について
- 第10回歯科衛生士の勤務実態調査報告書の配布について
- 新入会員の承認について
- 入会申込書様式の一部変更について

(16) その他

報告事項

- 会務報告
 - 業務執行理事等の職務執行報告
 - 常務理事会の報告
 - 常任委員会等の報告
- 監査実施報告
- 令和5年度「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」修了者アンケートの調査結果報告
- 令和6年度歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修事業報告
- 歯科衛生士に関する調査結果報告
- 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定
- 第82回全国小学生歯みがき大会組織委員の推薦
- 「歯科保健指導用パネル」改訂検討委員会委員の推薦
- 令和6年度都道府県歯科衛生士会への研修支援実施状況
- 75周年記念事業準備委員会報告
- その他